

28. 男女共同参画について

(1) 家事・育児・介護それぞれに費やした時間

※ (①)について、月曜日から土曜日は1日3時間程度(3時間×6日＝18時間)、日曜日は1日2時間程度(2時間×1日＝2時間)を費やしている場合、回答は「20時間」となります。また、育児、介護について、対象者がいない場合は、②に○を付けてください

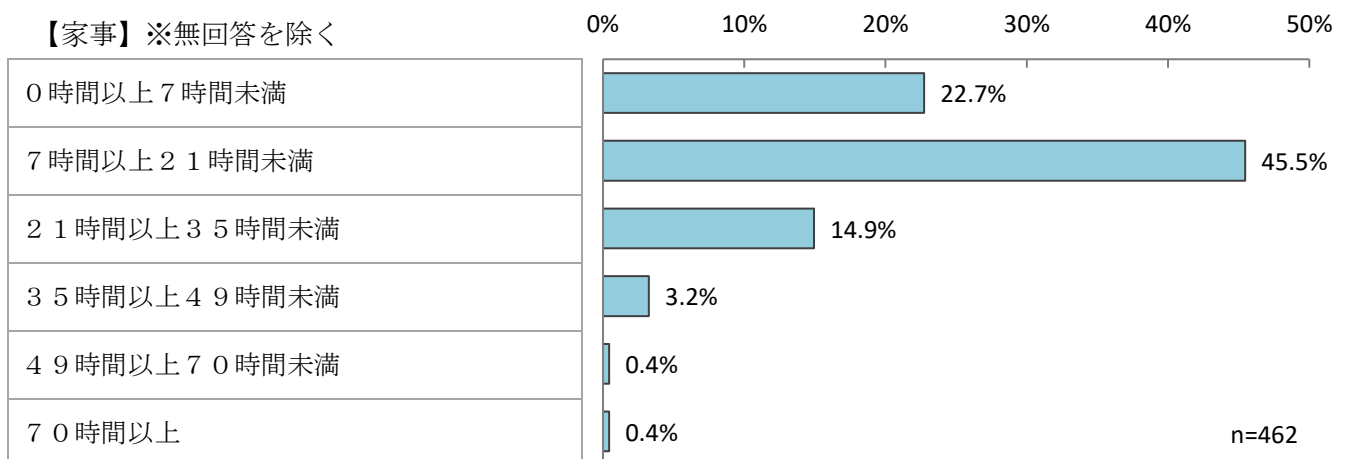
◇ 【家事】は「7時間以上21時間未満」が4割半ば

問90 一週間の生活の中で、家事・育児・介護におおよそどの程度の時間を費やしたかお答えください。

【家事】

		n=462
1	0時間以上7時間未満	22.7%
2	7時間以上21時間未満	45.5%
3	21時間以上35時間未満	14.9%
4	35時間以上49時間未満	3.2%
5	49時間以上70時間未満	0.4%
6	70時間以上	0.4%
	(無回答)	12.8%

<図IV-28-1>全体



一週間の生活の中で、家事に費やした時間については、「7時間以上21時間未満」が45.5%で最も高く、次いで「0時間以上7時間未満」が22.7%、「21時間以上35時間未満」が14.9%であった。

(図IV-28-1)

<参考>

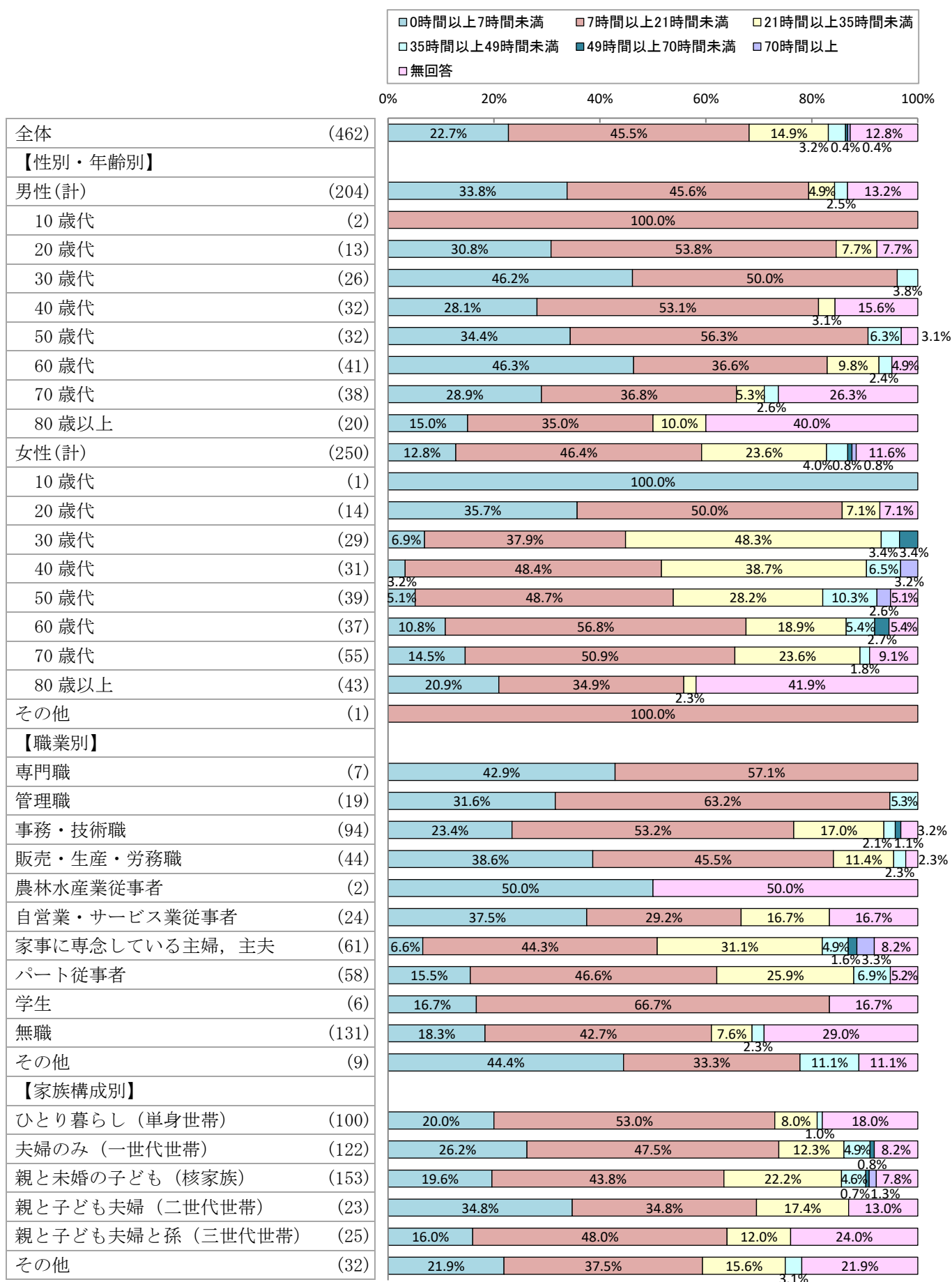
性別・年齢別でみると、＜男性30歳代＞は「21時間以上」が3.8%であるが、＜女性30歳代＞は55.1%となっている。(図IV-28-2)

職業別でみると、「21時間以上」は＜家事に専念している主婦、主夫＞が40.9%で最も高く、次いで＜パート従事者＞が32.8%と続いた。一方、＜管理職＞は5.3%、＜専門職＞は0.0%であった。

(図IV-28-2)

家族構成別でみると、「21時間以上」は＜親と未婚の子ども(核家族)＞が28.8%で最も高く、次いで＜夫婦のみ(一世代世帯)＞が18.0%と続いた。(図IV-28-2)

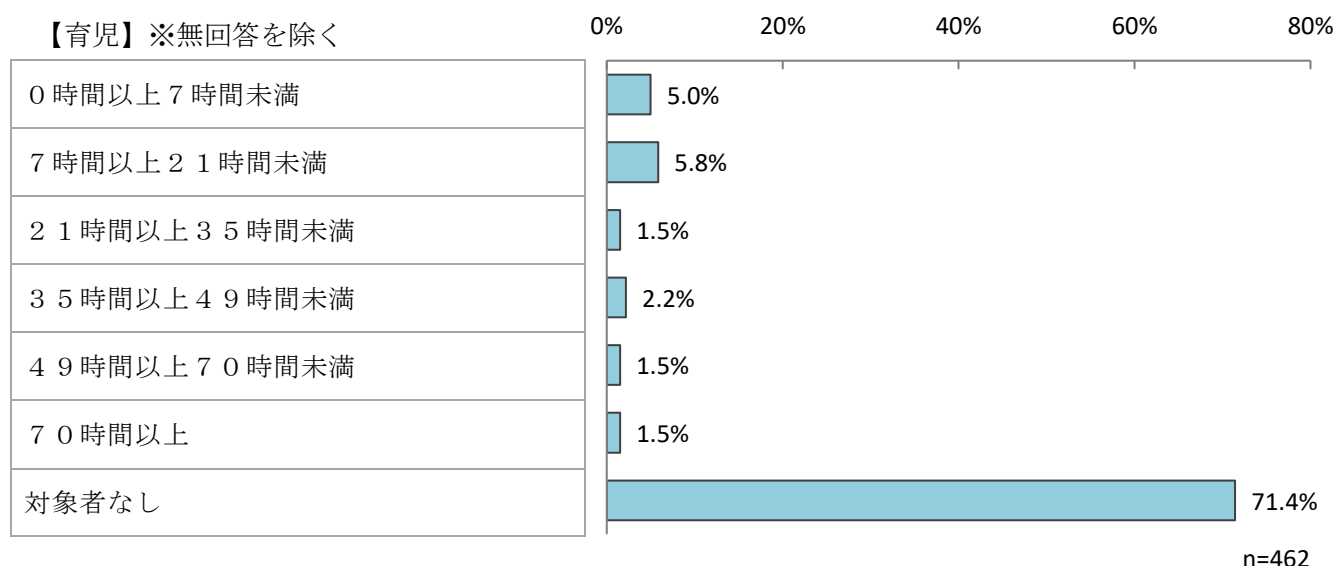
<図Ⅳ－２８－２>性別・年齢別／職業別／家族構成別



【育児】

		n=462
1	0 時間以上 7 時間未満	5. 0%
2	7 時間以上 2 1 時間未満	5. 8%
3	2 1 時間以上 3 5 時間未満	1. 5%
4	3 5 時間以上 4 9 時間未満	2. 2%
5	4 9 時間以上 7 0 時間未満	1. 5%
6	7 0 時間以上	1. 5%
7	対象者なし	71. 4%
	(無回答)	11. 0%

<図Ⅳ－２８－３>全体



一週間の生活の中で、育児に費やした時間については、「対象者なし」を除くと「7 時間以上 2 1 時間未満」が 5.8%で最も高く、次いで「0 時間以上 7 時間未満」が 5.0%であった。(図Ⅳ－２８－３)

<参考>

性別・年齢別でみると、＜女性 30 歳代＞は「4 9 時間以上」が 37.9%で高い一方で、＜男性 30 歳代＞は「4 9 時間以上」が 0.0%であった。(図Ⅳ－２８－４)

職業別でみると、「4 9 時間以上」は＜家事に専念している主婦、主夫＞が 9.9%で最も高く、次いで＜事務・技術職＞が 7.5%と続いた。(図Ⅳ－２８－４)

家族構成別でみると、「4 9 時間以上」は＜親と未婚の子ども（核家族）＞が 7.2%で最も高かった。(図Ⅳ－２８－４)

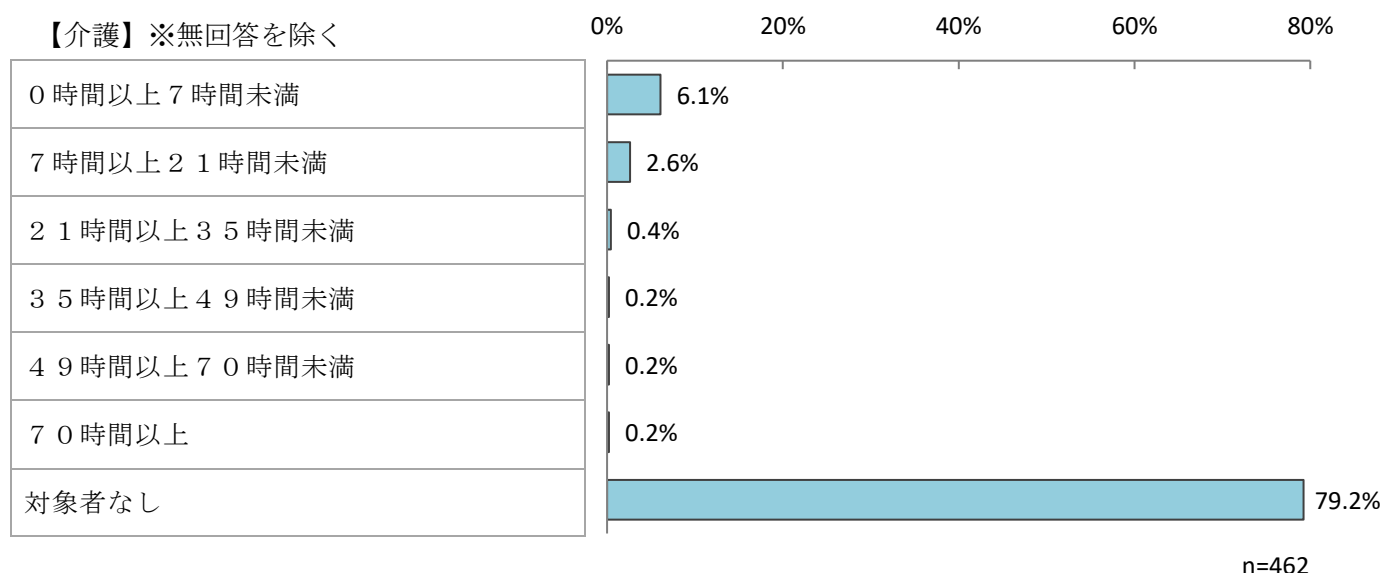
<図Ⅳ－２８－４>性別・年齢別／職業別／家族構成別



【介護】

		n=462
1	0時間以上7時間未満	6.1%
2	7時間以上21時間未満	2.6%
3	21時間以上35時間未満	0.4%
4	35時間以上49時間未満	0.2%
5	49時間以上70時間未満	0.2%
6	70時間以上	0.2%
7	対象者なし	79.2%
	(無回答)	11.0%

<図IV-28-5>全体



一週間の生活の中で、介護に費やした時間については、「対象者なし」を除くと「0時間以上7時間未満」が6.1%で最も高く、次いで「7時間以上21時間未満」が2.6%であった。(図IV-28-5)

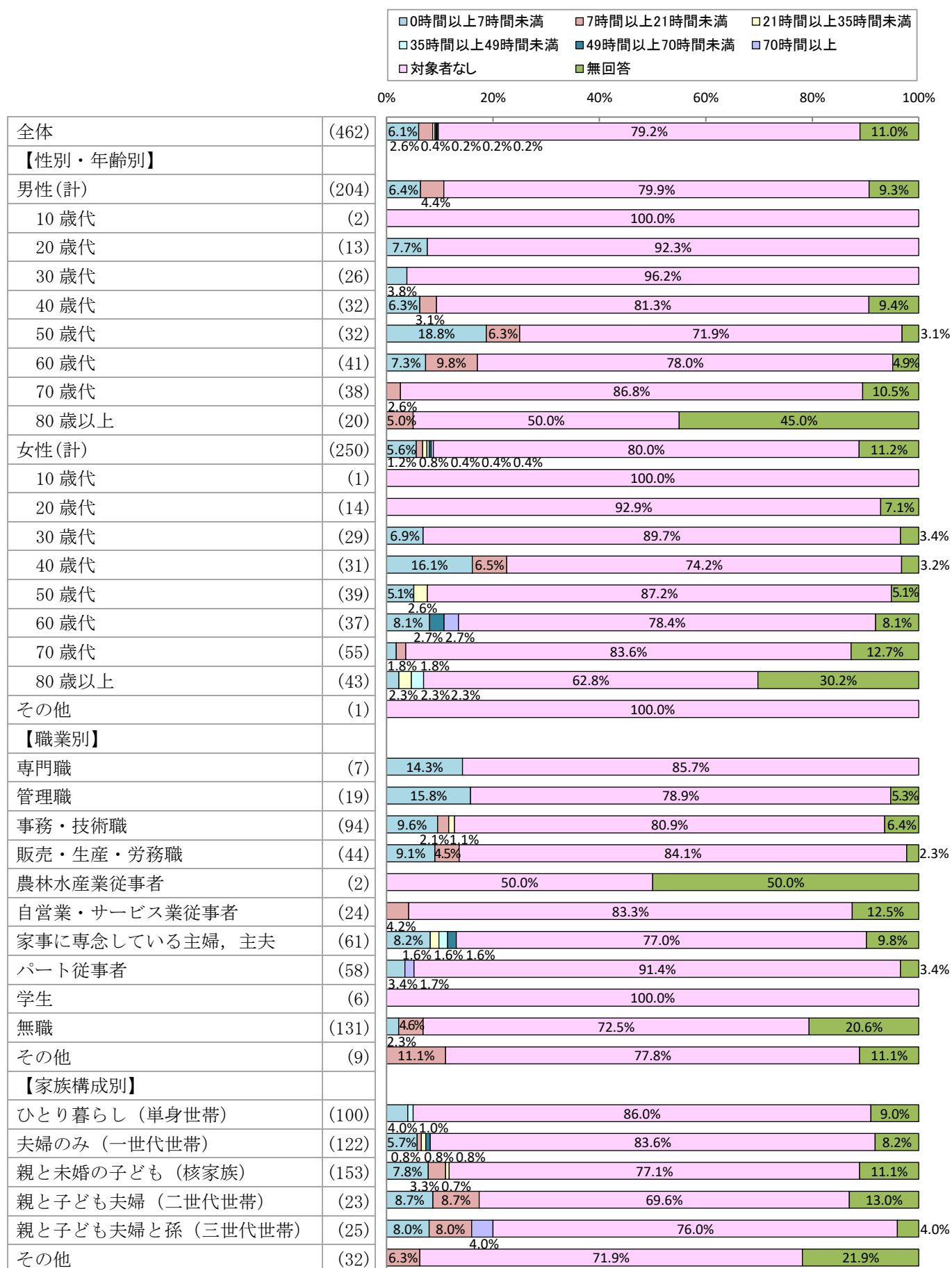
<参考>

性別・年齢別でみると、介護を行っている人の割合は<男性50歳代>が25.1%で最も高く、次いで<女性40歳代>が22.6%、<女性60歳代>が13.5%と続いた。また、「49時間以上70時間未満」と「70時間以上」は、<女性60歳代>がいずれも2.7%と最も高かった。(図IV-28-6)

職業別でみると、介護を行っている人の割合は<管理職>が15.8%で最も高く、次いで<専門職>が14.3%と続いた。また、「49時間以上」は<家事に専念している主婦、主夫>のみであった。(図IV-28-6)

家族構成別でみると、介護を行っている人の割合は<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が20.0%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が17.4%と続いた。(図IV-28-6)

<図Ⅳ－２８－６>性別・年齢別／職業別／家族構成別

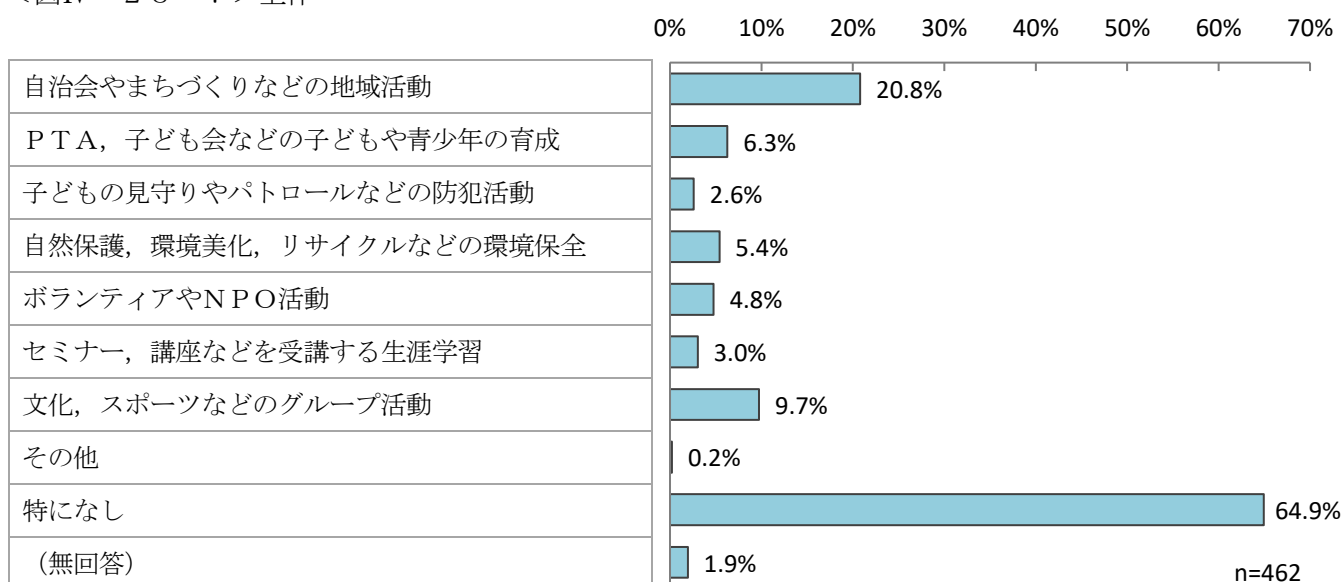


(2) 社会的な活動の実施状況

◇「特になし」が6割半ば

問 9 1 現在、地域などで社会的な活動を行っていますか。(〇はいくつでも)	
	n=462
1 自治会やまちづくりなどの地域活動	20.8%
2 P T A、子ども会などの子どもや青少年の育成	6.3%
3 子どもの見守りやパトロールなどの防犯活動	2.6%
4 自然保護、環境美化、リサイクルなどの環境保全	5.4%
5 ボランティアやN P O活動	4.8%
6 セミナー、講座などを受講する生涯学習	3.0%
7 文化、スポーツなどのグループ活動	9.7%
8 その他	0.2%
9 特になし	64.9%
(無回答)	1.9%

<図IV-28-7>全体



現在、地域などで社会的な活動を行っているかについては、「特になし」が 64.9%で最も高く、次いで「自治会やまちづくりなどの地域活動」が 20.8%、「文化、スポーツなどのグループ活動」が 9.7%と続いた。(図IV-28-7)

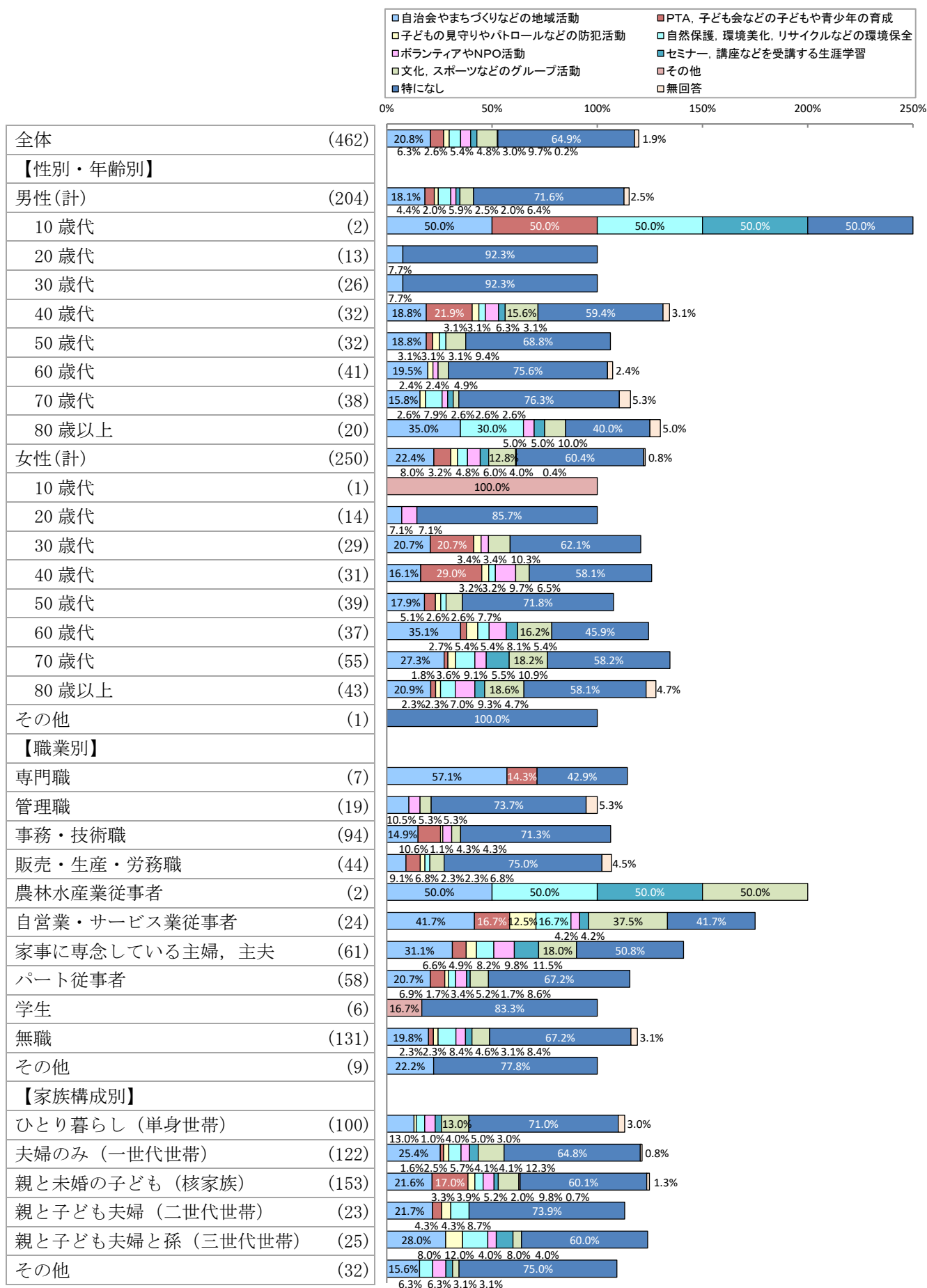
<参考>

性別・年齢別でみると、「特になし」は<その他>を除くと、<男性 20・30 歳代>が 92.3%で最も高く、次いで<女性 20 歳代>が 85.7%であった。(図IV-28-8)

職業別でみると、「特になし」は<その他>を除くと、<学生>が 83.3%で最も高く、次いで<販売・生産・労務職>が 75.0%であった。(図IV-28-8)

家族構成別でみると、「特になし」は<その他>を除くと、<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が 73.9%で最も高く、次いで<ひとり暮らし(単身世帯)>が 71.0%であった。(図IV-28-8)

<図Ⅳ－２８－８>性別・年齢別／職業別／家族構成別



(3) 配偶者からの暴力を受けた経験

◇「何度もあった」と「1, 2度あった」を合わせた【経験あり（計）】は、「精神的な暴力」が5.2%

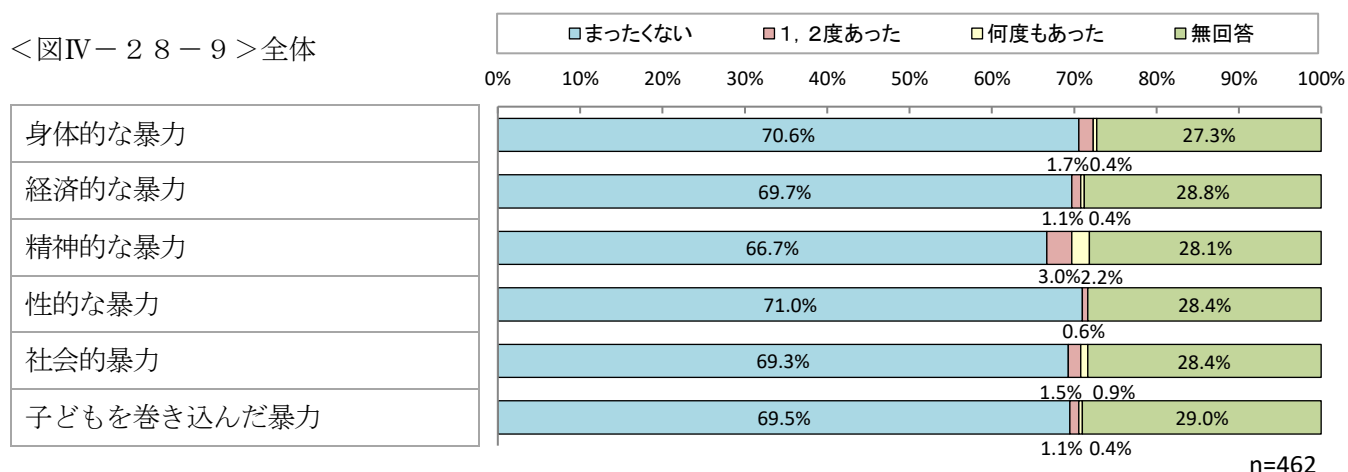
問92 過去1年間に配偶者から次のような暴力を受けたことがありますか。

(それぞれ項目ごとに○は1つ)

n=462

	項目	まったく ない	1, 2度 あった	何度も あった	無回答
1	身体的な暴力（殴る・蹴る・つねる・髪を引っ張る・物を投げつけるなど）	70.6%	1.7%	0.4%	27.3%
2	経済的な暴力（生活費を渡さない・給料や貯金を勝手に使われる・仕事をさせないなど）	69.7%	1.1%	0.4%	28.8%
3	精神的な暴力（言葉や態度で侮辱する・どなったり脅したりする・何を言っても無視する・別れるなら死ぬ、又は殺すと言うなど）	66.7%	3.0%	2.2%	28.1%
4	性的な暴力（性行為を強要する・避妊に協力しない・無理やりアダルト動画を見せる・中絶を強要するなど）	71.0%	0.6%	0.0%	28.4%
5	社会的暴力（実家や友人との付き合いを制限する・携帯電話や郵便物を勝手に見る・外出を制限する・行動を監視するなど）	69.3%	1.5%	0.9%	28.4%
6	子どもを巻き込んだ暴力（子どもの前で「バカだ」「親の資格がない」などと非難する・「子どもに危害を加える」と言って脅すなど）	69.5%	1.1%	0.4%	29.0%

<図IV-28-9>全体



過去1年間に配偶者から暴力を受けたことがあるかについては、「何どもあった」と「1, 2度あった」を合わせた【経験あり（計）】の割合は、「精神的な暴力」が5.2%で最も高く、次いで「社会的暴力」が2.4%、「身体的な暴力」が2.1%であった。（図IV-28-9）

<参考>

さらに暴力の種類ごとに性別・年齢別でみると【経験あり（計）】が最も多かったのは、「精神的な暴力」で<女性30歳代>が13.8%で最も高く、「社会的暴力」は<女性40歳代>が9.7%、「子どもを巻き込んだ暴力」は、<女性50歳以上>が7.7%であった。（図IV-28-10～図IV-28-15）

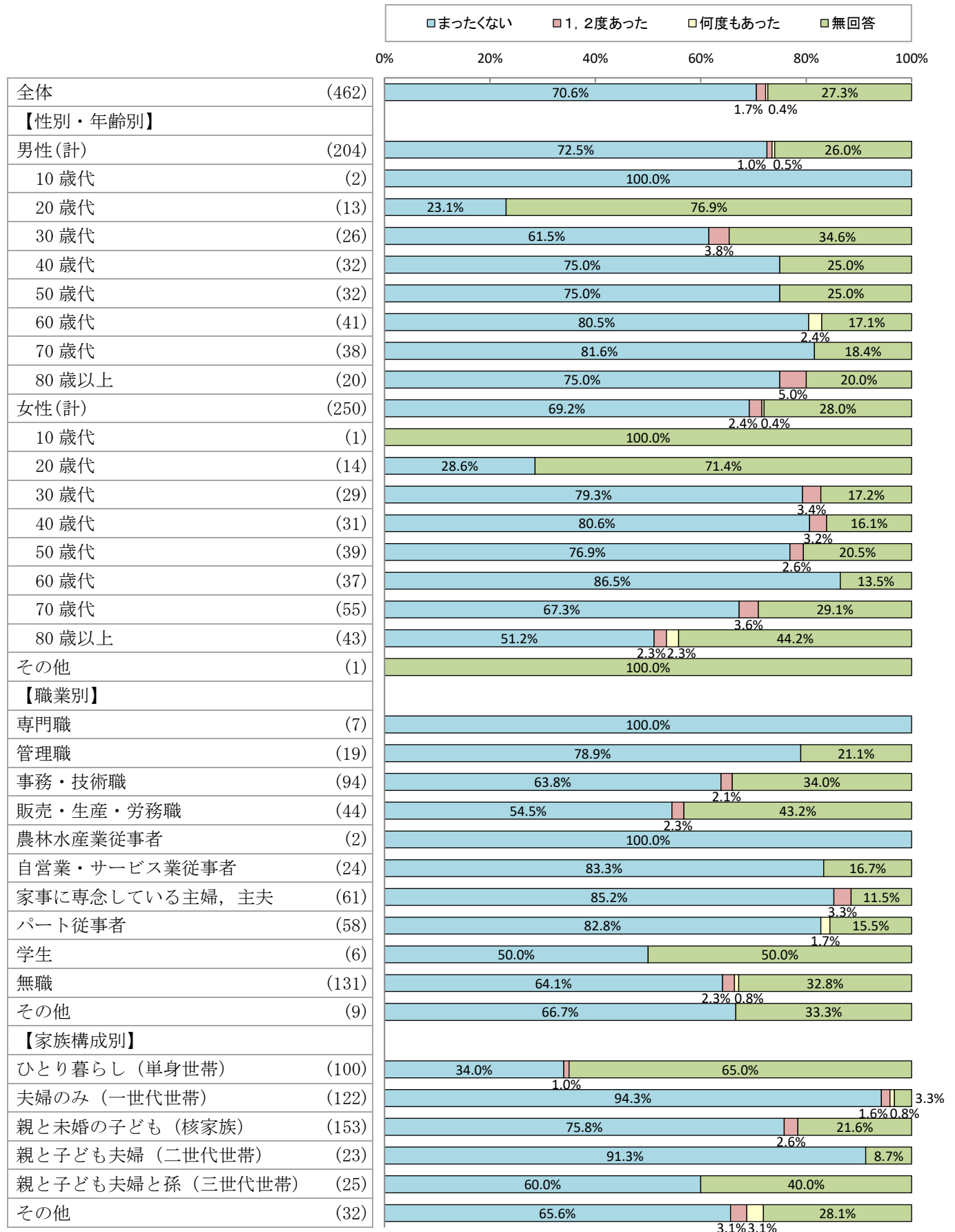
暴力を受けたことがある（総合）について性別でみると、【経験あり（計）】は<女性>が3.0%、<男性>が1.3%で<女性>が高かった。性別・年齢別でみると、【経験あり（計）】は<女性40歳代>が6.5%で最も高かった。（図IV-28-16 総合）

暴力を受けたことがある（総合）について職業別でみると、【経験あり（計）】は<その他>を除くと、<パート従事者>が4.6%で最も高かった。（図IV-28-16 総合）

暴力を受けたことがある（総合）について家族構成別でみると、【経験あり（計）】は<その他>を除くと、<親と未婚の子ども（核家族）>が4.0%で最も高かった。（図IV-28-16 総合）

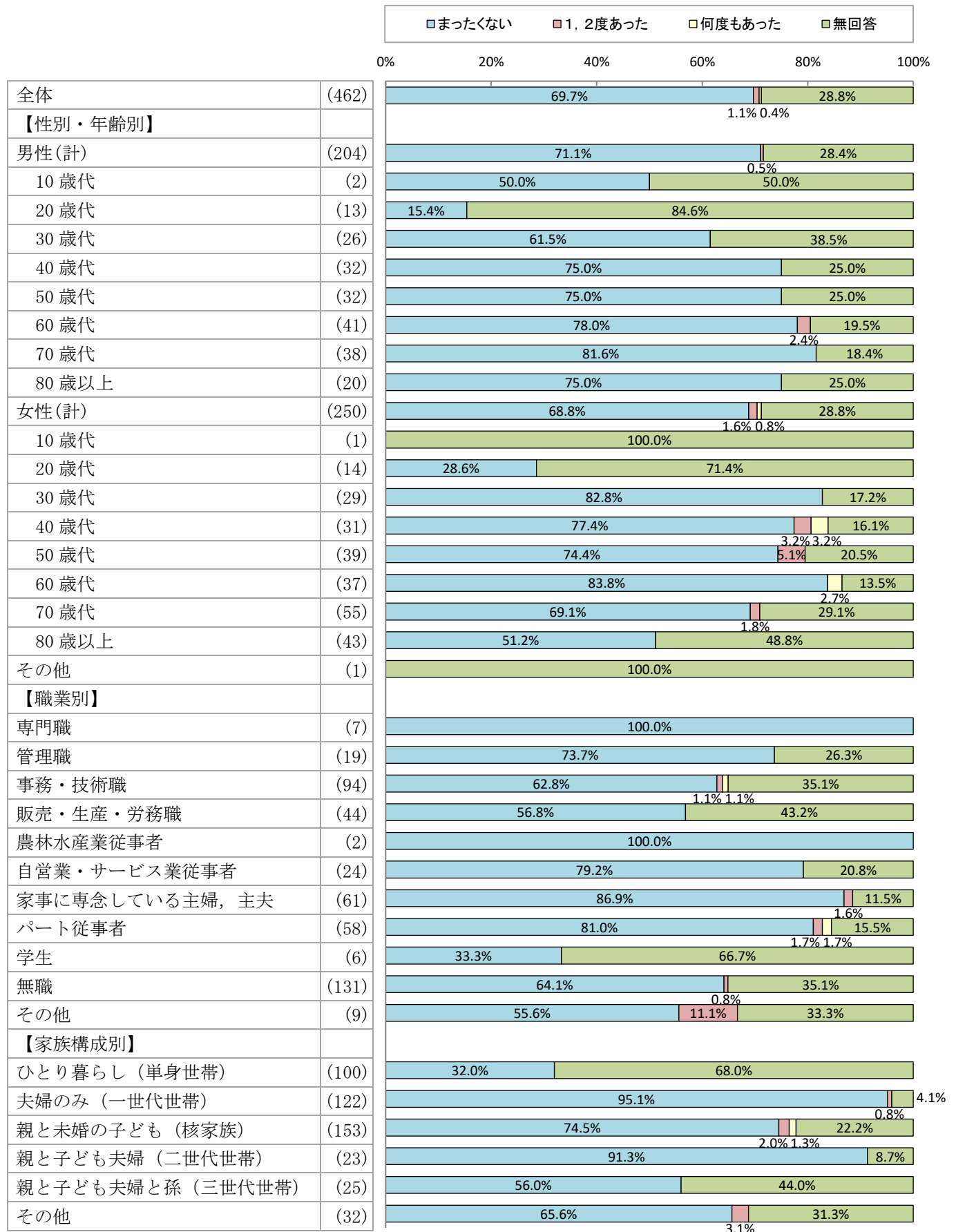
① 身体的な暴力

<図Ⅳ－２８－１０>性別・年齢別／職業別／家族構成別



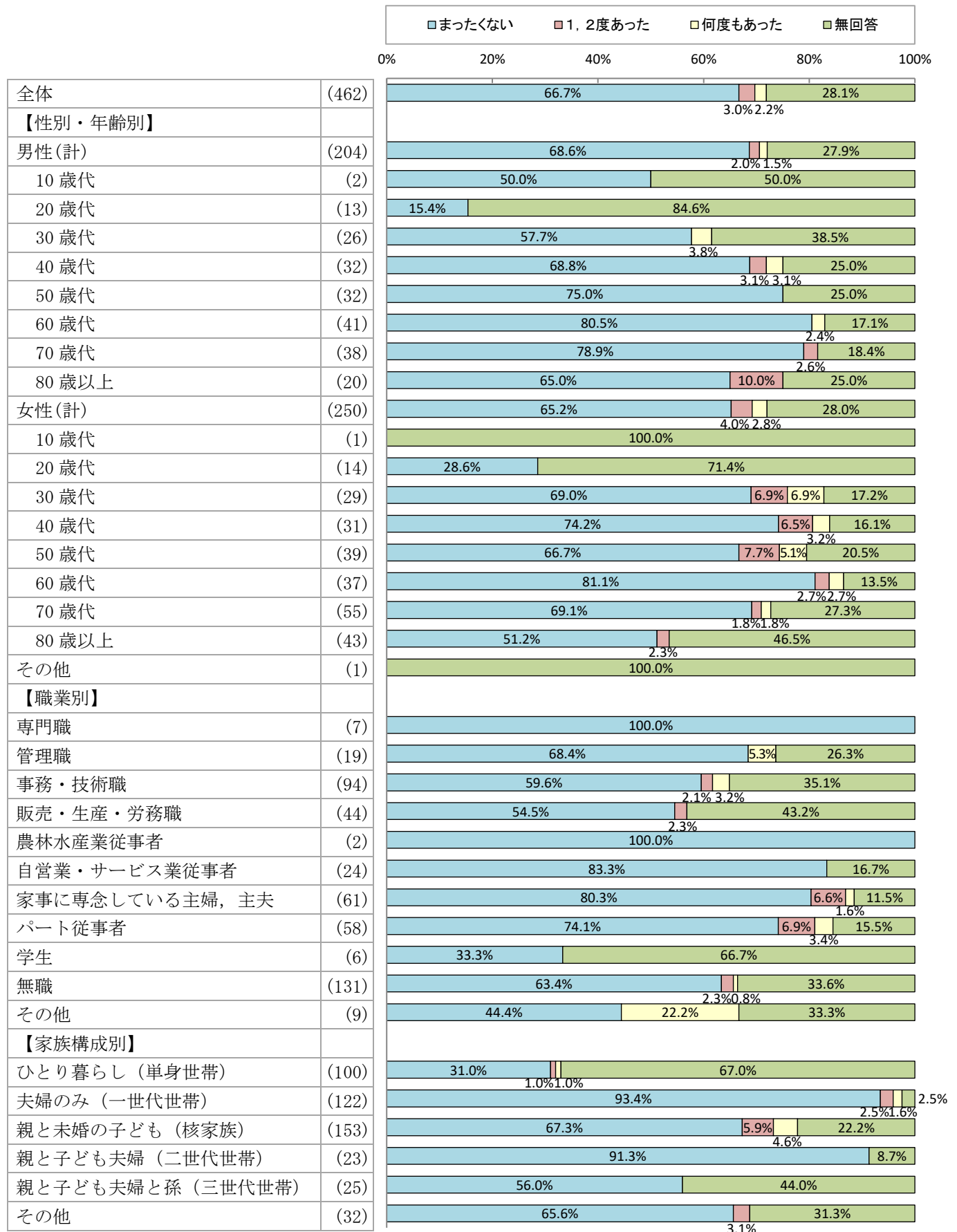
② 経済的な暴力

<図Ⅳ－２８－１１>性別・年齢別／職業別／家族構成別



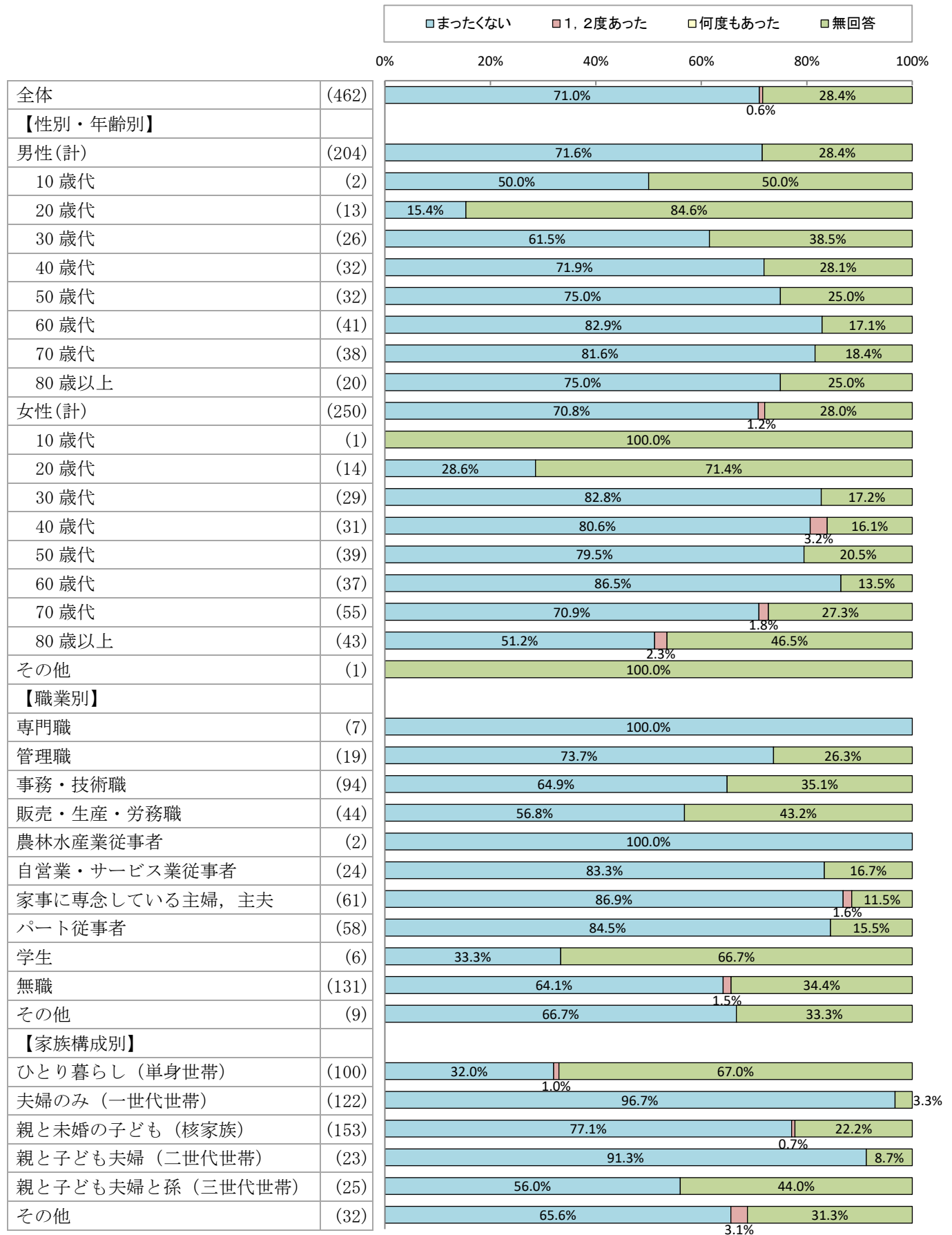
③ 精神的な暴力

<図IV－２８－１２>性別・年齢別／職業別／家族構成別



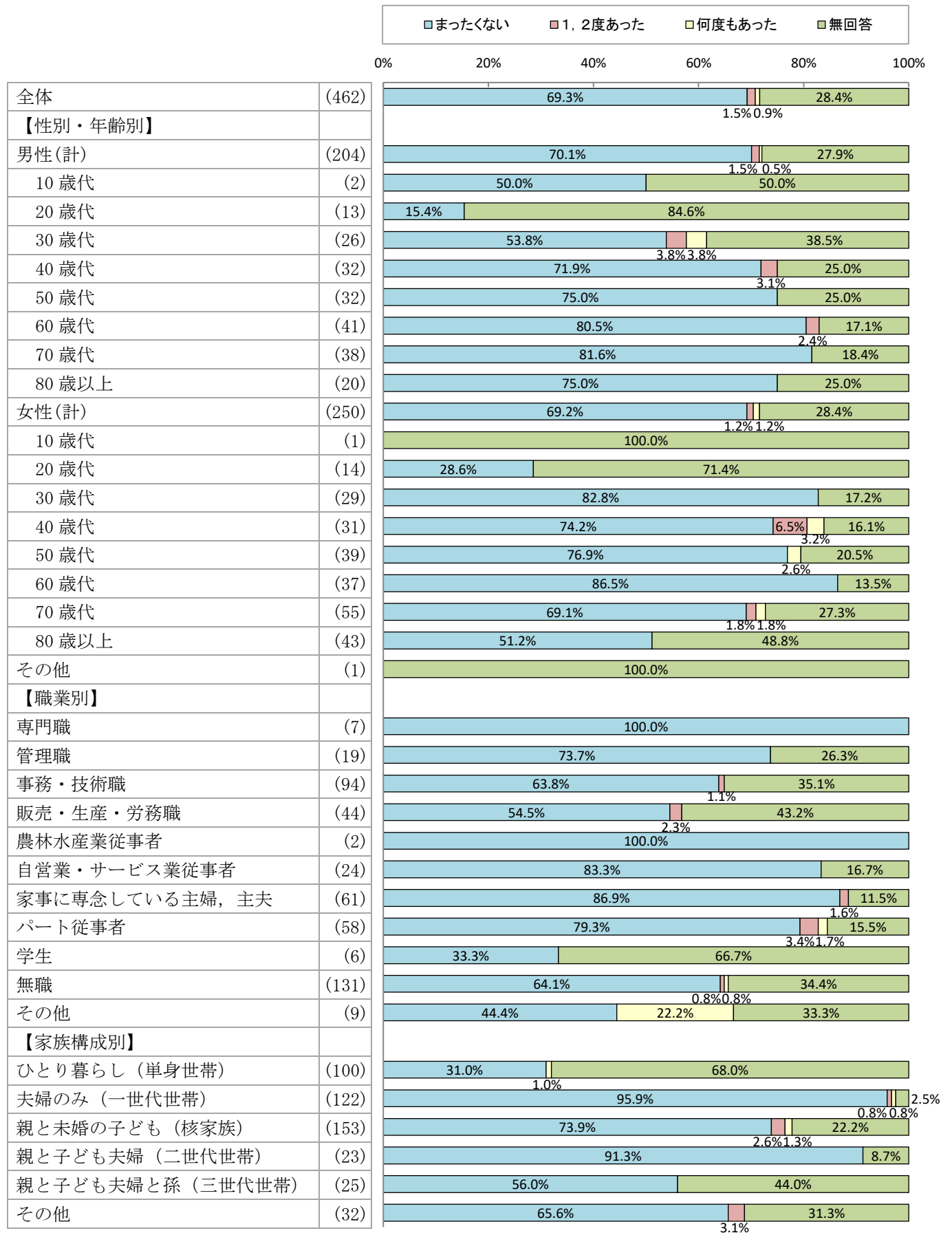
④ 性的な暴力

<図Ⅳ－２８－１３>性別・年齢別／職業別／家族構成別



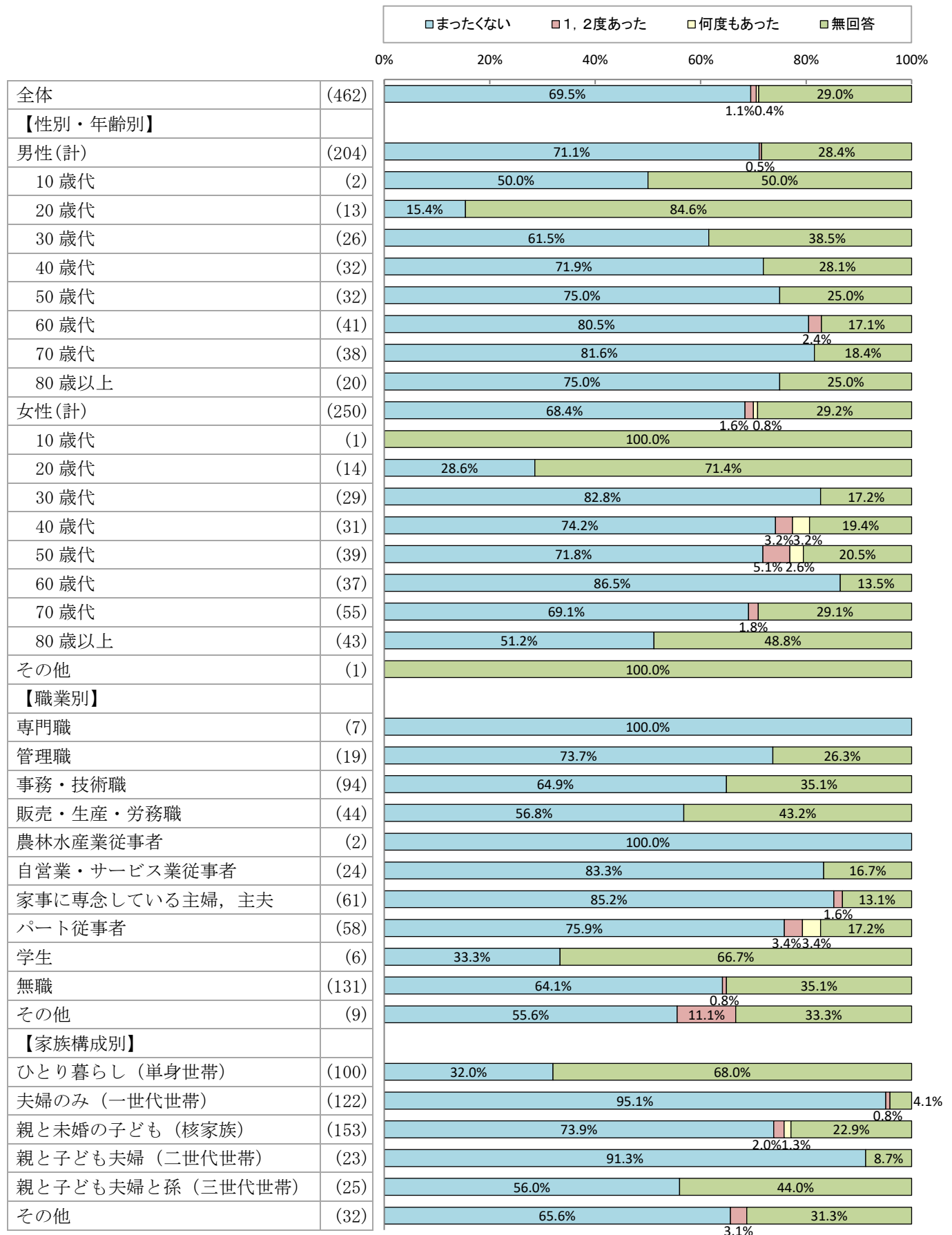
⑤ 社会的暴力

<図Ⅳ－２８－１４>性別・年齢別／職業別／家族構成別



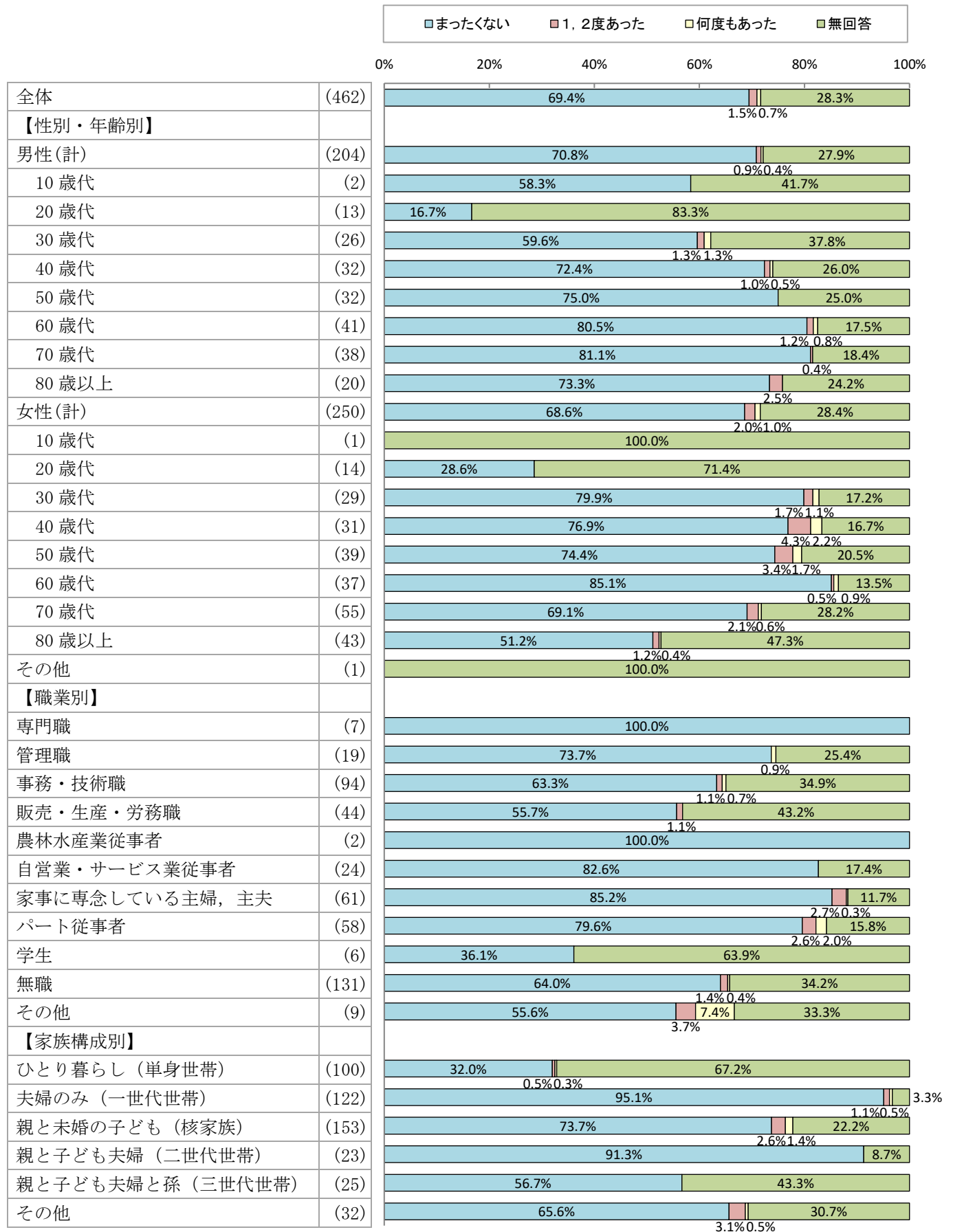
⑥ 子どもを巻き込んだ暴力

<図Ⅳ－２８－１５>性別・年齢別／職業別／家族構成別



⑦ 総合

<図Ⅳ－２８－１６>性別・年齢別／職業別／家族構成別



(4) L G B T Q (エルジービーティーキュー) の認知度

◇ 「言葉も内容も知っている」が5割弱

問 9 3 L G B T Q (エルジービーティーキュー) ※という言葉について聞いたことがありますか。

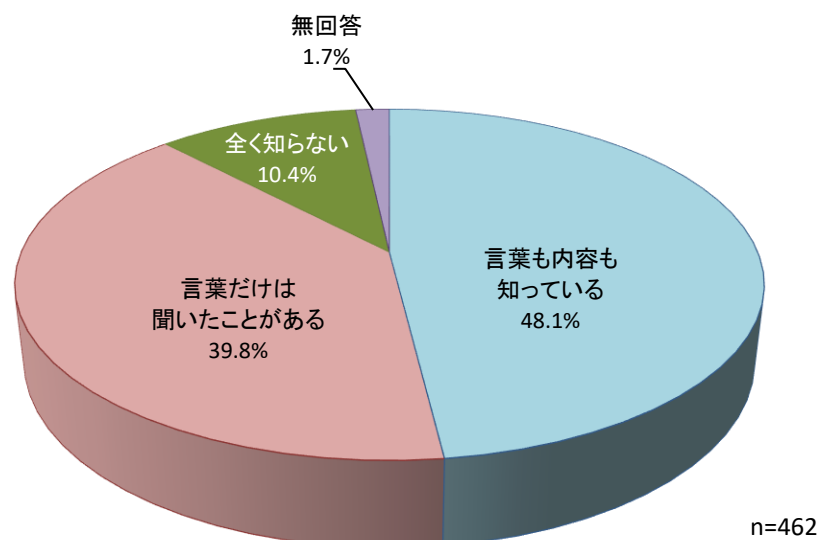
※L (レズビアン・女性同性愛者), G (ゲイ・男性同性愛者), B (バイセクシャル・両性愛者), T (トランスジェンダー・からだところの性が一致せず, 性別に違和感を覚える人), Q (クエスチョニング・性自認や性的指向が明確ではない人, 探している人, 決めかねている人/クイア・L G B Tに当てはまらない性的マイノリティや性的マイノリティを広範的に包括する概念) の5つの単語の頭文字をとった言葉で, 性的マイノリティ (性的少数者) を表す総称のひとつ

(○は1つ)

n=462

1	言葉も内容も知っている	48.1%
2	言葉だけは聞いたことがある	39.8%
3	全く知らない	10.4%
	(無回答)	1.7%

<図Ⅳ－28－17>全体



L G B T Q (エルジービーティーキュー) ※という言葉について聞いたことがあるかについては, 「言葉も内容も知っている」が 48.1%で最も高く, 次いで「言葉だけは聞いたことがある」が 39.8%であった。(図Ⅳ－28－17)

<参考>

性別・年齢別でみると, 「全く知らない」は<女性 80 歳以上>が 32.6%, 次いで<男性 80 歳以上>が 30.0%であった。(図Ⅳ－28－18)

職業別でみると, 「全く知らない」は<その他>を除くと, <無職>が 16.8%で最も高く, 次いで<販売・生産・労務職>が 13.6%であった。(図Ⅳ－28－18)

家族構成別でみると, 「全く知らない」は<親と子ども夫婦 (二世帯世帯)>が 26.1%で最も高く, 次いで<親と子ども夫婦と孫 (三世帯世帯)>が 16.0%であった。(図Ⅳ－28－18)

<図Ⅳ－２８－１８>性別・年齢別／職業別／家族構成別

